

通訳案内士試験ガイドライン 目次

I. 試験全体について

- (1) 目的
- (2) 試験方法
- (3) 試験委員
- (4) 合否判定
- (5) 試験免除

II. 外国語筆記試験について

- (1) 試験方法
- (2) 合否判定

III. 日本地理筆記試験について

- (1) 試験方法
- (2) 合否判定

IV. 日本歴史筆記試験について

- (1) 試験方法
- (2) 合否判定

V. 一般常識筆記試験について

- (1) 試験方法
- (2) 合否判定

VI. 口述試験について

- (1) 試験方法
- (2) 合否判定

外国語筆記試験 出題構成（平成23年分）

1. 英語

- (1) 外国語文読解問題 40点
- (2) 外国語文和訳問題 14点
- (3) 和文外国語訳問題 16点
- (4) 外国語による説明 16点
- (5) 単語外国語訳問題 14点

2. 中国語

- (1) 外国語文読解問題 46点
- (2) 外国語文和訳問題 8点
- (3) 和文外国語訳問題 15点
- (4) 外国語による説明 16点
- (5) 単語外国語訳問題 15点

3. 韓国語

- (1) 外国語文読解問題 34点
- (2) 外国語文和訳問題 12点
- (3) 和文外国語訳問題 12点
- (4) 外国語による説明 18点
- (5) 単語外国語訳問題 24点

外国語筆記試験に係る主な改正事項（案）

- ・ 言語によっては、選択式（マークシート方式）による出題を組み合わせることとする。
- ・ 選択式（マークシート方式）による出題を組み合わせる場合にも、外国語文和訳問題 1 題、和文外国語訳問題 1 題、外国語による説明問題 1 題は記述式により出題するものとする。

口述試験に係る主な改正事項（案）

- ・ 評価項目は以下のとおりとする：
明瞭さ（発音、声量）、文法・統辞の正確性、対応能力（臨機応変さ、順応性）、おもてなし精神（やる気・熱意）、知識の正確性、説明能力
- ・ 評価方法は、全体評価（評価項目中、明瞭さ（発音、声量）、文法・統辞の正確性、対応能力（臨機応変さ、順応性）、おもてなし精神（やる気・熱意））とテーマ説明に係る評価（評価項目中、知識の正確性、説明能力）とで5割ずつとし、合計して概ね6割を合格基準として合否判定を行うものとする。
- ・ ただし、各評価項目について、個別に設定する合格基準に達しない項目が1つでも存在する場合には、口述試験全体の評価内容にかかわらず不合格とする。